

## 5. 理科

科目	科学と人間生活	単位数	2	区分	必履修
教科書・教材	数研 科学と人間生活くらしの中のサイエンス	配当年次	1年次		
<b>授業のねらい・概要</b>					
身のまわりのものを観察すると、一見関係ないように思えるものにもさまざまなつながりをみいだすことができる。これらの関係を考える時、大切な視点が科学と技術である。これら、科学と技術がわれわれの日常生活とどのようなかかわりを持っているか学ぶ。					
<b>授業の進め方</b>					
教科書を参考にしながら学習を進め、簡単な実験やプリント等により、問題演習等を織りまぜながら進める					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	科学と技術の始まり		中間	17
	5月	ものの温度・熱平衡・熱容量・比熱			
	6月	仕事・仕事とエネルギー・エネルギーの変換と保存			
	7月	物質の成り立ち・セラミックス		期末	
	8月	金属の特性・プラスチック			
9月	光合成・光合成と光の色		18		
後期	10月	光の強さと光合成速度・植物の生育と光		中間	
	11月	動物の行動と光・眼の構造と働き			
	12月	宇宙から地球を眺める・地球から見た天体の動き		期末	
	1月	時間と暦・惑星地球の発見			
	2月	太陽系の構成・太陽系の広がり			
<b>評価の方法</b>					
出席状況・日常の学習態度、提出物、定期テスト等を総合的に判断して評価する					
<b>備考</b>					
中学での学習の不十分な部分を補いつつ、次年度学習への橋渡しとなるよう基礎固めに留意する。					

科目	化学基礎	単位数	2	区分	選択必履修
教科書・教材	数研 新編 化学基礎	配当年次	2年次		
<b>授業のねらい・概要</b>					
身の回りに様々な形態で、化学的要素が含まれていることを理解させ、科学時代に生きる人間として、必要な化学的資質を養う。					
<b>授業の進め方</b>					
教科書を参考にしながら学習を進め、簡単な実験やプリント等により、問題演習等を織りまぜながら進める					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	○身の回りにおける物質の特性を考える。		中間	17
	5月	○物質の成分から混合物と純物質の違いを理解し、分離方法も考え			
	6月	○純物質をさらに調べると化合物と単体となる事を理解し、分離方			
	7月	○原子の違いが、原子内部の陽子や、電子、中性子が含まれる数の		期末	
	8月	○周期表を覚え原子の構造を書けるようにする。			
9月	○イオンの原子構造を学資する。		18		
後期	10月	○電解質を溶かした溶液中を電気が流れる様子を学ぶ。		中間	
	11月	○分子の存在を知る。			
	12月	○原子量、分子量、式量、物質量を学ぶ。		期末	
	1月	○酸と塩基と塩の関係を学ぶ。			
	2月	○水素濃度について学ぶ。			
<b>評価の方法</b>					
出席状況・日常の学習態度、提出物、定期テスト等を総合的に判断して評価する					
<b>備考</b>					

科目	生物基礎	単位数	2	区分	選択必履修
教科書・教材	数研 新編 生物基礎	配当年次	3年次		
<b>授業のねらい・概要</b>					
・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高める。 ・生物学の基本的な概念や原理・法則を理科する。					
<b>授業の進め方</b>					
教科書を参考にしながら学習を進め、簡単な実験やプリント等により、問題演習等を織りまぜながら進める					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	○生物の多様性と共通性について学ぶ。		中間	17
	5月	○代謝とエネルギーについて学ぶ。			
	6月	○光合成と呼吸について学ぶ。			
	7月	○遺伝子とDNAについて学ぶ。		期末	
	8月	○DNAの構造と遺伝情報。			
9月	○遺伝情報とタンパク質の合成。		18		
後期	10月	○遺伝情報の配分と細胞の分化について学ぶ。		中間	
	11月	○体内環境としての液体。			
	12月	○腎臓と肝臓による調節について学ぶ。		期末	
	1月	○自律神経と内分泌腺による調節。			
	2月	○免疫について学ぶ。			
<b>評価の方法</b>					
出席状況・日常の学習態度、定期テスト等を総合的に判断して評価する					
<b>備考</b>					